

大分教育事務所訪問 46

大分市立賀来小中学校から学ぶ



学校経営から学ぶ

校長先生をはじめ、2人の教頭先生、主幹教諭、教務主任から丁寧なご説明を頂きました。皆さんの表情やその内容からも、学校改革への意欲やそれぞれのチームワークの良さ、働き方改革への挑戦や熱い思いを感じました！

学校の教育目標「やさしく かしこく たくましく 夢の実現へ成長する子どもの育成」を目指し、本年度は子ども達の実態から「道徳教育（やさしさ）」「英語教育（かしこさ）」「清掃（たくましさ）」を重点目標に設定しています。そして、後期の子ども達のゴールイメージ（目指す児童生徒像）から、中期、前期の児童生徒像や、それぞれの具体的な取組指標を設定しているので、小中一貫教育校の強みを活かした継続的な実践へとつながっています。

今後は、それぞれの取組によって、どのような力（資質・能力の3本柱）をつけるのかを明確にすることで、上位目標であるそれぞれの目指す児童生徒像を検証しやすくなると思われます。また、保護者や地域の方と共に、子ども達につけたい力（育成を目指す資質・能力）について協議をすることで、より地域と共にある学校への実践が推進されると思います。



率先垂範

私たちから始めましょう！  
楽しみながらやりましょう！大人が夢をもちましょう！  
そんなあなたの姿を子どもがみれます。大人っていいものだ。

授業への取り組みから学ぶ

今回は授業の参観はできませんでしたが、準備をされていた14学級の授業の「ねらい」は、A：学習内容（～について等）＋B：学習活動（～を通して等）＋C：資質・能力（～できるようにする等）の3つの構成で表現され、それぞれの内容も明確でした。

今後は「B：学習活動」を設定する際には、考えるための技法（順序付ける、比較する、分類する、関連付ける、多面的に見る、理由付ける、見通す、具体化する、抽象化する、構造化する等）をより意識されると良いと思います。また、本単元を通してどのような力をつけることを意識するために、単元における単位時間の役割や位置付けを確認すると良いと思います。（既にされているかもしれませんが）

また、説明を聞きながらオンライン授業にも意欲的、協働的に取り組まれていると感じました。新しい取り組みは最初から上手くいくことはありません。接続の不具合等のトラブルもあるでしょうが、そのような経験は全てデータとして蓄積されます。大変なご苦労でしょうが、是非とも実践を継続して頂き、その成果と課題を広く発信し、共有していただくことをお願いいたします。



創造力

やってみる。すると良い点だけでなく改良点もみつかると改善し続けている間は失敗は無い。未成功だ。



タイムマネジメント

計画は「役割」と「目的」で考える。あなたの「役割」は教職員だけでなく、親、地域の人・・・それぞれの「目的」を考え計画をつくろう。